

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
教頭	1 開会のことば 本日は御多用のところ御来校くださりありがとうございます。 また、開会に当たりまして、本会議は、加須市審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱に基づき、会議を公開することとなっておりますこと、本日の会議の会議録につきまして、後日、本校のホームページで公表させていただきますこと、予め御報告申し上げます。
校長	2 校長挨拶 本校校長 4 年目の青木です。本日は御多用のところ来校いただきありがとうございます。加須市では今年度から全小中学校で学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の取組を始めました。地域住民・保護者・教職員の一人一人が「こどもたちのために何ができるか」を考えて取り組むことが大切だと考えています。「よい学校はよい地域をつくる」と言われます。開校 153 年目の本校をよりよいものにするために、皆様の御協力をお願いします。
	3 委嘱状交付
教頭・参会者	4 自己紹介
教頭	5 校内一巡
教頭	6 会長・副会長の選出
教頭 校長	7 協議 (1) 令和 7 年度の学校経営方針について 重点課題は「1 学力向上、2 心の教育、3 学校の働き方改革」の三つです。 今年度は新たな取組として、授業や学校生活の様子を公開する「種足小オープンデー」を 11 月に 3 日間実施します。また、小小連携として鴻基小学校との合同社会科見学、修学旅行を 3、4、6 年生で実施します。さらに、民間プールを利用した水泳学習も始まります。PTA 活動の負担軽減を引き続き行い、資源回収の回収方法の見

直しを行います。

学校教育目標は「よく考え深く学ぶ子 やさしく思いやりのある子 健康で明るい子」、目指す学校像は「夢や希望を育み信頼される学校」でこれまでと変更はありません。

学校生活の８割は授業です。わかる楽しい授業を展開し、学力を高めます。また、それを支える学級経営や生徒指導・教育相談にも力を入れていきます。

学校、家庭、地域それぞれの役割と責任を明確にし、目標と課題を共有した地域密着型の教育を推進します。

学力・学習面では、加須市チャレンジテストで良い結果が出たものの、標準学力調査では算数に課題があることが分かりました。今年度は、加須市教育委員会・加須市教育研究会から研究委嘱を受け、算数の授業改善に全校で取り組みます。また、昨年に引き続き加須市の ICT 活用推進校として、学習用端末の効果的な活用方法を提案し、成果を市内の学校に広めてまいります。また、４年目となる「自学自習賞」の取組は、のべ４５０人表彰を目指します。

心の教育・豊かな人間性については、県立騎西特別支援学校や福島県双葉南・北小、鴻荃小学校との交流を通して、多様な人との関わる場面を意図的・計画的につくり、コミュニケーション能力の向上を図ります。

健康・体力面については、家庭と連携してスクリーンタイムの縮減に取り組みます。体育授業の充実に加え、水曜日の「さわやか運動」を年間を通して行い、体力の向上を図ります。

地域連携の面では、本校の卒業生が多く地域に居住している「おらが学校（伝統校）」であることを認識し、地域を愛し、感謝する心を育みます。昨年５年ぶりに復活した雷神社の「ささら」など、学校の教育力を地域に還元する取組にも、引き続き力を入れてまいります。

学校の働き方改革については、埼玉県の目的が「学校教育の質の維持向上」から「働き方改革の推進によって、こどもたちへのよりよい教育を実現する」に変わりました。本校では、「埼玉県業務改善スタンダード・小学校版（改訂版）」「加須市立学校における働き方改革基本方針」に基づき、学校の働き方改革、意識改革を推進します。今年度は、完全退校時刻を１８時３０分としました。

（２）学力・心の教育・体力向上について

・校内課題研究 算数科について

	※令和 7、8 年度加須市教育委員会・加須市教育研究会研究委 嘱 ・自学自習賞について ・一斉テストについて ・読書の取組の充実について ・一人一台端末及び大型モニターの活用 ・道德教育の充実について ・自然体験活動の充実について ・他校や異学年・異校種交流の充実 ・パワーアップ運動の実施 ・さわやか運動の実施（毎週火曜日） ・体育的行事の計画的な実施 ・種足小学校応援団による協力・支援 ・中学校区リンクミーティングでの記載地域の保・幼・小・中で の連携 ・騎西中学校との交流 ・県立騎西特別支援学校との連携 ・埼玉県環境科学国際センターとの連携 (3) 令和 7 年度年間行事計画 (4) その他
台委員	8 意見交換
教務主任	特別支援教育の視点を取り入れた算数の指導法について研究する とありました。本校として協力できることはありますか。 令和 5 年度に県立騎西特別支援学校の職員の方に、同時型指導法 について御指導をいただきました。さらに詳しく学び、研究を深め たいので、講師として再度派遣をしていただくことは可能ですか。
台委員	前向きに検討します。
若山会長	地域に特別支援学校がある環境を、さらに生かしていきたいです ね。
青木校長	台委員には、本校も参加する地域のさつまいも掘りや雷神社ささ ら奉納にも参加していただいています。引き続き御協力いただけると 幸いです。
金子委員	先程、働き方改革について話がありました。職員の数は定数と同 じなのでしょうか。
青木校長	今年度は定数に加え、加配 1 名、非常勤講師 1 名をいただい

金子委員 青木校長 金子委員 青木校長	ります。 昨年度よりは状況はよくなっているのですね。 加須市教育委員会の御配意のおかげです。 勤務時間については、実態はいかがですか。 生徒指導で問題が起きた時に、本校の勤務時間内にお願いすると保護者に伝えています。 また、「決められた勤務時間の中で教育成果を挙げる」ということを大事にしています。
台委員 青木校長 若山会長 田島委員	本校でも職員に「考え方を換えよう」という話をしています。 働き方改革を行うには、意識改革が大事だと考えています。 他の委員はいかがですか。 民間企業で働いています。私の職場でも働き方改革を行っていて、残業ゼロを目指していますが、負荷がかかってストレスを感じている人もいるかもしれません。
青木校長 若山会長 青木校長	教員には、残業代が支給されません。民間も厳しいですね。 家に仕事を持ち帰ることはありますか。 自己研鑽として家で仕事をすることもあると思います。白黒はつきりできない部分が多いですが、管理職は心を鬼にして働き方改革の旗を振り続けなければならない立場であると考えています。
若山会長 青木校長	教員のなり手不足の理由は何でしょうか。 教員としての若い時期に保護者対応で苦勞することが一因と考えられます。これには、経験を積み重ねることが大切であると考えています。
安藤委員	働き方改革を進めて、先生方にはリフレッシュした状態で次の日を迎えてほしいです。昨年度 PTA 会長を務めていましたが、PTA 担当の教務主任の働き方を見て、働き方改革がより進むとよいと感じました。
9 閉会	
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和 7 年 5 月 1 4 日 署名 <u>教頭 田島 直樹</u>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。